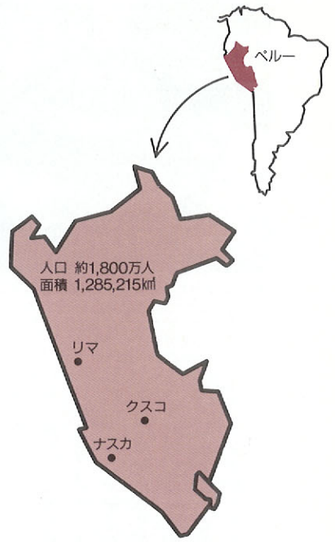
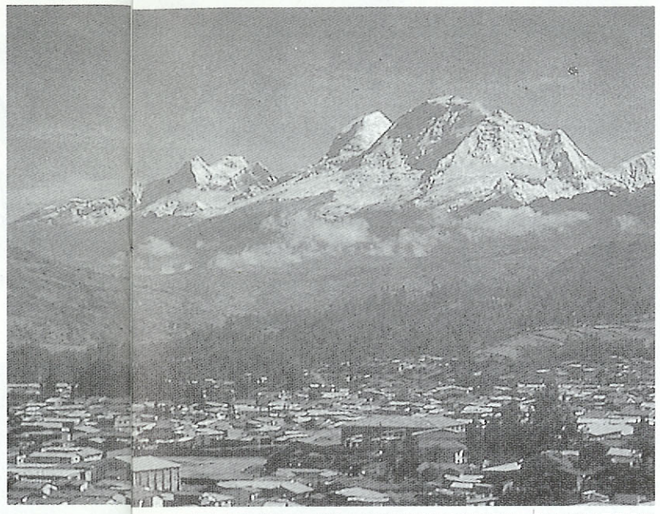
くまもとin the WORLD
ペルー支援レポート

今や世界の政治、経済のリーダー役を果たすことが期待されている日本。政情不安から経済困窮に陥った国々への経済支援は、その大きな柱の一つといえます。

熊本県は「地方の国際化」というテーマを掲げ、多方面に独自の国際協力を展開しています。特に日系二世、両親の出身地が熊本県であるアルベルト・フジモリ氏が大統領を務めるペルーへの支援の輪は大きく広がっています。今回は、このペルーへの支援状況をレポートします。




アンデス山脈ウアスカラン峰とすそ野に広がるカジェホン・デ・ウエイラスの町

MINI NEWS

今年4月8日、朝日新聞に掲載されている四コマ漫画「フジ三太郎」（サトウサンペイ著）にフジモリ・ペルー支援の会が登場。大変な反響があり、遠く北海道からも寄付が届きました。

朝日新聞に載ったフジ三太郎。マンガの中の住所そのままで届いた支援金もあった。

秘境と伝説の国ペルー

南米大陸の西岸に位置するペルー。国を南北に縦断するアンデス山脈に沿う高原地帯、アマゾン川流域の密林地帯、海岸沿いの砂漠地帯と大きく三つに区分される地域は、それぞれに特徴的な景観や気候を有しています。依然多くの秘境が存在し、世界の冒険家たちの心を刺激する国です。

また、その歴史は、紀元前八〇〇〇年に既に人類がいたといわれ、ナスカの地上絵や古代インカ帝国の首都クスコ、マチュピチュ遺跡など多くの神秘と伝説が眠っています。

一五三三年のスペインによる征服後、長い植民地時代を経、一八二一年に独立。以来数度の政治的変遷を経て一九八〇年、民主化を果たしました。今、これまでの混乱の時代が招いた国家の財政的危機を、国民すべてが一体となって建て直そうと努力しています。

三太郎さんありがとう

フジ三太郎さんの「敷島の大和心」の問いかけによってペルー支援の募金の熱意が再び湧いてきました。

浄財は、ペルーの子供たちのための学校の建設に当てられる予定ですが、ペルー再建のため頑張っているフジモリ大統領を勇気づけ、大きな心の支えともなることでしょう。

心から御礼申し上げます。

熊本の三太郎より

フジモリペルー支援の会
熊本県知事　福島　譲二

フジ三太郎にあてた熊本の三太郎からのお礼状

ペルーの明日のために 熱い心を熊本から

一九九〇年六月、民主化後三代目の大統領に当選したのは、日系二世のアルベルト・フジモリ氏でした。氏は、当選早々の七月四日、両親の出身地熊本を訪れ、知事との懇談の中でインフレ率三ケタ、経済成長率もマイナスという状況の国家再建に取り組む強い意志を語りました。

そこで大統領ルーツの地日本、熊本からペルーを支援して行こうと県が主体となって「フジモリ・ペルー支援の会」を七月二十四日に発足。大統領が積極的に取り組んでいる子供達の健康、教育環境改善に対しての支援を目的に、全国的募金活動を展開しています。すでに今年七月まで二億三千万円を超す浄財が寄せられ、学校建設費用として二回にわたりペルーに送金されました。現在十一校が建設中、二校が完成しています。

そのほか昨年九月には、県内の農業四団体の寄付により玄米粉約二トンが発送されたり、婦人団体を中心に収集された古着が「支援の会」の手によって送られたりしています。また現在、熊本アンデスの会で医療機器を集めて発送する手続きを進めています。

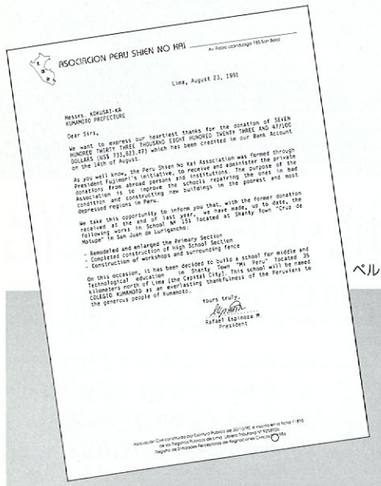
様々な問題と闘うペルー、フジモリ大統領へ、とどまることなく温かい声援が送られ続けています。

県の農業四団体がペルーに送った玄米粉の活用状況の視察のため、今年七月六日から二週間、ペルーに行かれた中田ひとみさんに話を伺いました。

中田ひとみさん（青年海外協力隊OG）

途上国への食糧支援の場合、国内の状況などにより物資が目的通り使われているか不安な面があります。玄米粉は、受け入れ先の「ペルーカリタス」がカトリック教会運営の組織的にしっかりした団体だったので、農業団体の意向通り貧しい子供達に支給されていました。

実際に現地で強く感じたことは、相手国に本当に必要なものは何かを見極める必要があるということです。受け入れ団体の能力をも考慮し、相手国の立場に立った支援活動を続けることが重要だと思います。


ASOCIACION PERU SHIEN NO HIRI

Lima, August 23, 1991

Messrs. KUMAGAI-KA
KUMAMOTO PREFECTURE

Dear Sirs,

We want to express our heartest thanks for the donation of SEVEN HUNDRED TWENTY THREE THOUSAND EIGHT HUNDRED TWENTY THREE AND 67/100 DOLLARS (US$ 723,823.83) which has been credited in our Bank Account on the 14th of August.

As you well know, the Peru Shien No Kai Association was formed through donations from abroad persons and institutions, registering the ones, the Association is to be used for constructing new buildings in the poorest and most depressed regions in Peru.

We take this opportunity to inform you that, with the former donation received at the end of 1990, we have made, up to date, the following works in Schools:

Hualuge in San Juan de Lurigancho:

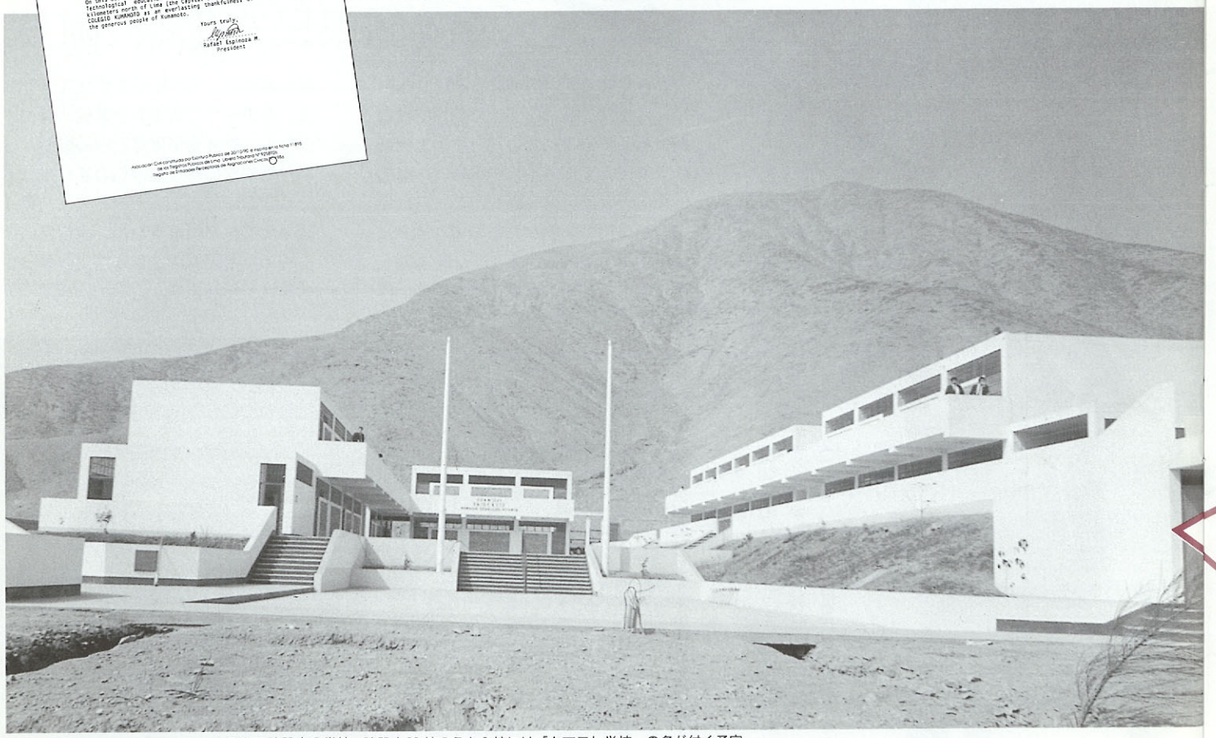
- Remodeled and enlarged the Primary Section
- Completed construction of High School Section
- Construction of workshops and surrounding fence

On this occasion, it has been decided to build a school for middle and Technological education in Diarity Town "Mi Peru" located 35 kilometers south of Lima (the Capital City). This school will be named COLEGIO KUMAMOTO as an everlasting thankfulness of the Peruvians to the generous people of Kumamoto.

Yours truly,

Rafael Espinosa M
President

ペルー側の支援金受け入れ団体「ペルー支援の会」からのお礼状


フジモリ・ペルー支援の会からの支援金で建設中の学校。建設中11校のうち1校には「クマモト学校」の名が付く予定。